

# ☆☆土木部 スタッフブログ☆☆ 急峻な斜面で橋脚工事をを行っています！

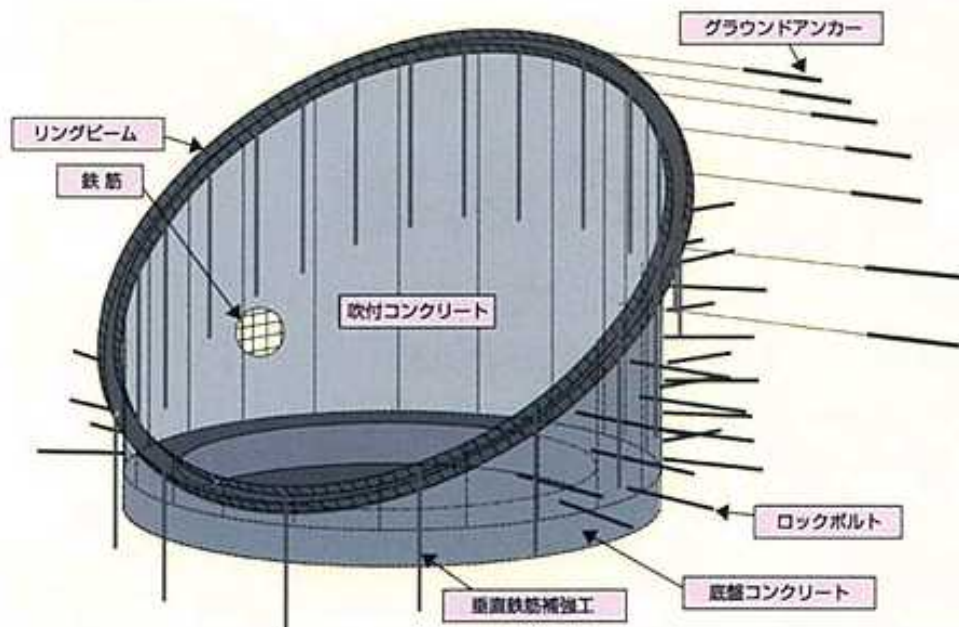
～ 竹割り型構造物掘削工法で急斜面での施工を克服～  
尾道・松江自動車道 後谷川橋第2下部工事で行っています！

現在雲南市吉田町において弊社が尾道・松江自動車道後谷川橋第2下部工事において、高速道路の橋脚(後谷川橋 L=160m)の施工を行っています。急峻な山岳斜面に橋脚を安全に設置する為に、「竹割り型構造物掘削工法」なる方法を用いて進捗中であり、その一部と現場の状況を紹介させていただきます。

工事場所：島根県雲南市吉田町……下の地図の ● の場所です。



竹割り型構造物掘削工とは……概念図はこんな感じです



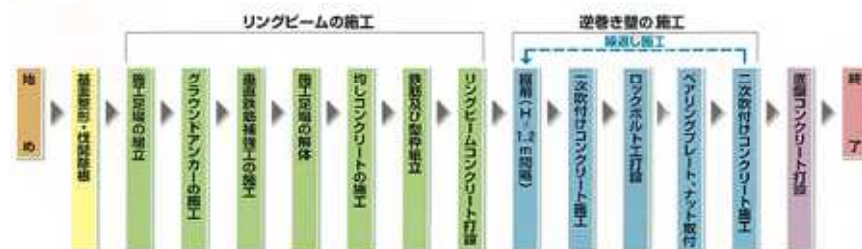
竹割り型構造物掘削工法の基本構造

## 竹割り構造物の特徴

1. 工事費の縮減ならびに工期の短縮が可能である。
2. 掘削に伴う地山の変形を抑制し、施工中の安全を確保出来る。
3. 広い施工用用地を必要とせず、かつ長大な人工斜面が発生しないため、自然環境や景観に与える影響を小さくできる。



### ③ 竹割り型構造物掘削法の施工手順



ここからは実際の現場の状況を少しだけ写真で紹介しま

すぐ下の写真 左側に見えるのが、竹割型構造物掘削方法で完成した橋脚です。急峻な山岳斜面に高さ20mの仮橋を作り、そこから工を行います。



わが社は  
この辺りに作ります！

斜面に竹を斜めに切った形のコンクリートの壁を作ります！！

掘削土をクレーンで揚土し、仮橋上部で10tタンクに積み込みます。上から見ると竹を斜めに切ったような姿がよくわかります。

竹の筒のような壁はコンクリートを吹き付けて造りま



スカドリルでロックボルトの施工を行い壁面の崩壊を防止します。  
竹の筒のような壁の中身はこんな風になっています！



竹割の完成です。  
ちょっと撮影角度が悪くて竹を斜めに綺麗に切ったような写真がありません……(T T)  
ごめんなさいm(\_ \_)m (写真担当者 談)



余談ですが……

今年の豪雪で辺りは一面銀世界……(@\_\_@)……(2月頃です)



きれいです、、、、  
寒かった(T\_\_T)  
この寒さにも負けず……  
松江からの通勤  
毎日頑張りました(^^)V

このメンバーで竹割型構造物掘削の施工を行っています。(^-^)/



イマイチ笑顔が足りない・・・？ カタブツそうに見えますが、実はとっても楽しい面々(らしい)です。  
編集者 談・・・(--;)

さて 最後に

現場所長より現場の近況をお知らせします。

写真中央が所長です 緊張してます？・・・顔が一番固いような気が、、(^^;)

現在、竹割り工法は完了しその下の深礎杭の施工にとりかかっている最中です。進捗は、82%です。(やっとここまで来たなという感じです。)

初めて現場に乗り込んだときは、現場への進入路が1本だけで、一体いつまでかかったらこの工事は終わるんだろうか、、と言う気持ちになったことを思い出します。しかし、これまでに  
お世話になった協力業者の皆さんをはじめカナツ現場職員も含め、この作業所が一丸となって  
モノ作りを必死に行ってきた結果、現在があります。

工事も終盤を向かえて、完成まであと僅かなところまで進んできました。あと少しに気を緩めることなく、安全作業で、高い品質の工事を完成させるように、更に全員で努力して参ります。

**ゼロ災害 完成を目指して 頑張ります！**

**ご安全に！！！！**